

# 「私のアロマ&インナーチャイルドワークストーリー」

## 「エッセンシャルオイルとの出会い」

私のアロマとの出会いは1本のペパーミント精油でした。

頭は常にボーッと重たく、心身ともに疲れ果て、体には色んな症状が出ていました。  
あるオーガニックモールの中に併設されたサロンの前に置かれていたテスターを鼻に持っていったところ、  
体の下から上までが一瞬にして通り、頭はスッキリ。  
香りは適度に刺激的があって心地よい。

この一瞬の出来事で、私はすっかりアロマ(植物の香り)に魅了されていました。  
これは一体なのだろう。私の中で何が起きているのだろう。  
サロンの入り口にはアロマ講座の案内が・・・。  
この出会いをきっかけに、わたしはそこで一通りの講座を受け、  
その中で沢山の香りに出会い、アロマの基礎を学んでいきました。

その後アロマトリートメントに従事しますが、体調を崩し退職。  
これをきっかけに職は事務職に変わり、そこから数年間アロマとは距離ができ、  
「私にこれは関係ない・・・」とボトルを手にとることもなくなりました。



## 「病気が教えてくれたこと」

東日本大震災が起きた2011年6月、  
一人旅で行ったハワイ島で左胸にしこりがあることに気づきます。  
帰国後、病院で検査したところ乳がんであることが判明。  
標準治療である手術と抗がん剤を受けました。

がんであることが判明したことは、私の人生でとてもショックな出来事でしたが、  
この年に知り合った夫の存在にも助けられ、  
半年程の治療を終えることができました。

そして結婚・出産・子育てという転機を迎えます。  
抗がん剤の副作用で止まっていた生理は復活するも、  
もしかしたら僅かながらに残っている薬の影響など、  
子どもを授かるために支障となるものはないのだろうか??と不安でもありました。

薬の副作用で毛は全て抜け、生殖機能である生理は止まり、

倦怠感、手や足先の痺れ、  
抗がん剤投与に使っていた血管ものの壁も薬の影響で腫れ痛みが出ていました。

そのため、長男を授かっていることがわかった時は、「生命の神秘と奇跡」を感じました。  
身体はこんな経験をしても、それでも新しい生命を宿することができるほどまでに復活することができるのかと。  
この出来事は、これまでの人生の様々な理解へと繋がる大切な学びでもありました。

## 「アロマとの再会&インナーチャイルドワークとの出会い」

そして出産。子育てがスタート。  
長男が2歳の頃、ままならない子育てにほとんど疲れている自分に気づきます。  
今の自分には癒しが必要だと感じました。

注文したアロマセットの中に入っていた1本のボトルを手に取り嗅ぎました。  
香りが背骨を駆け抜け一瞬にして頭頂に向かい、背骨全体が整う感覚がありました。  
この時のオイルもペパーミント精油だったことは、忘れられません。  
この出会いをきっかけに再びアロマ(自然の香り)の世界に魅了されていきました。

しかし、しばらくすると意に反するように様々な激しい感情が溢れてきます。  
そして次第に身体まで反応するかのようになり、色々な症状が現れ始めました。  
そんな時、以前から登録していたハートエデュケーションセンターからのメルマガに目がとまります。

## 「インナーチャイルド」

この言葉を目にした時、  
この様々な感情は私のインナーチャイルドの声なのではないか！？と感じ、  
ハートエデュケーションセンターの扉を叩き、本格的なセラピーがスタートしました。

## 「自分の生命力を取り戻し始める」

セラピーや学びの過程で自分のこれまでの発達過程や家庭環境を振り返る機会が訪れました。  
その中で、自分では認識できていないものも含め、  
これまでの生育家庭の中で様々なトラウマを抱えていたことに気づき始めます。

そしてその中で、自分を癒すことに集中しました。  
色んな出来事を思い出しました。  
たくさんの感情にタッチしました。  
癒される過程で身体に症状が出ることもありました。  
誰かとの関係性の中で衝突することもありました。



それをセラピーと気づきと共に少しずつ乗り越えていく中で、  
私はこの道の中で何をしてきたのらうだか。  
私はこれから何をしていきたいのらうだか。  
と思ったのです。

もちろん「癒し」は大切です。  
それがなければ、その先の気づきや現実の変化には繋がらないでしょう。  
そして、それらを動かしている原動力となっているのものは、  
人が本来備え持っている

### 「生きる力」、「生命の力」、「生きようとする力」

この力は、自分自身の命を最大限に活かす力です。

過去のトラウマに飲み込まれながら、なんとか必死に生き抜いていく力。(サバイブしていく力)  
とは、全く質が異なります。

これまでの私の道のりは、なんとか必死にサバイブしながら生命を繋ぎとめ、  
ギリギリを生き抜くサバイブする力から、自分自身の生命を最大限に活かす力、  
「生命力(自分の生命を活かす力)」を取り戻すために歩んできたのだ。  
ということに気づきました。

そして今度は、この「生命の雫～a drop of life～」という場所で、  
人が持っている「生命の力」を取り戻すサポート。

「生命の雫」の力(自然の力)を借りながら、  
生きる力、生きようとする力を取り戻すとは、どういうことなのかを、  
色々な角度からお伝えしていくことであると考えています。

上記に挙げたような、プロセスの過程で起こることは現在の私のプロセスの過程の中でも起こります。  
しかし、以前よりそれらに頭を抱えることは少なくなりました。

そんな自分の変化を感じる時、  
これまでの自分の歩みに頭を下げながら、  
共にそれぞれのプロセスを歩んできた仲間と、  
それをいつも支え、寄り添い、インナーチャイルドワークを始め、色々な学びを提供してくれた師に。  
そして私の家族やここまで生命を繋いでくれた方たちのおかげでもあるのだと、  
感謝の想いを胸に感じています。

これまでの私の経験が、生命の雫～a drop of life～をご利用いただく皆さまのお役に立てることができま  
したら幸いです。

東海林 智子

